

民具案内関連企画展

むかしのくらし展

2021年1月12日(火)～3月14日(日)

9:00-17:00 (入館は16:30まで) 会場:特別展示室 観覧無料

休館日:1月14日(木)、28日(木)、2月12日(金)、25日(木)、3月11日(木)



くにたち郷土文化館



民具案内関連企画展

むかしの暮らし展

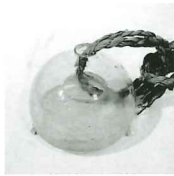
みなさんは、電気のなかった時代が想像できますか？
 夜暗くなったら、どうしていたのでしょうか？
 洗たくは？ とっても寒いときは？
 はたらくのも大変そうです。
 では、電化製品がようやく買えるようになったとき、
 家にはどのようなものがあったのでしょうか。
 展示されている暮らしの中で使われてきた道具（民具）を通して、暮らしの変化にふれてみてください。



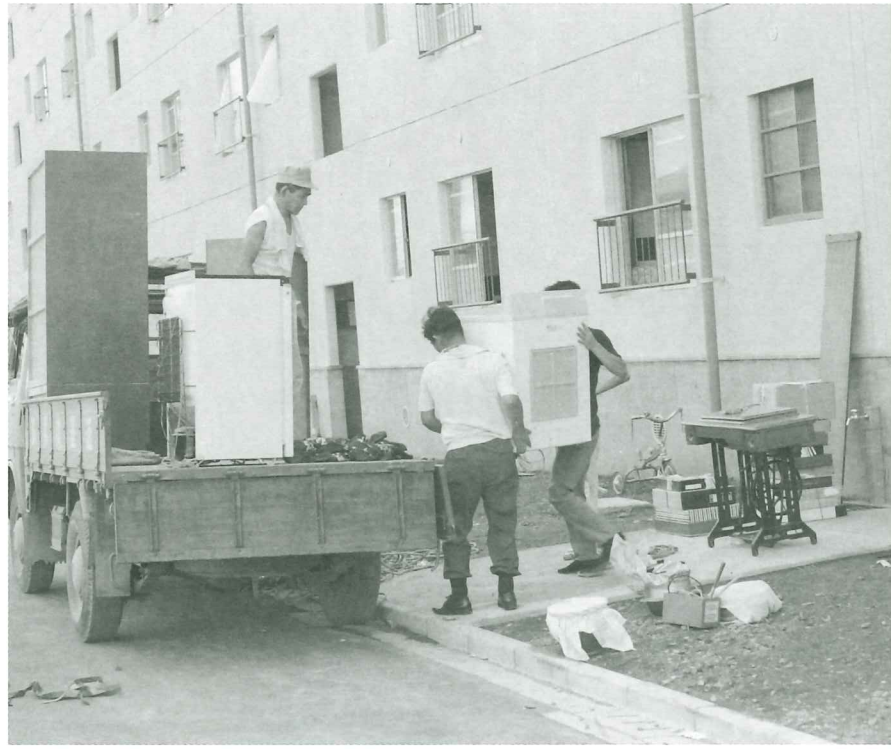
タライと洗濯板



品川あんか



ハエ取り器



富士見台団地への引っ越しの光景 昭和41（1966）年頃

電気洗濯機や冷蔵庫といった電化製品と一緒に昔からある生活の道具もあります。



民具調査風景 昭和58（1983）年

MEMO 民具を集めた人々

昭和43（1968）年、国立第一小学校のPTAは、すでに失われつつあった少し昔の生活用具を集めて、「暮らしのあゆみ展」という展示を第一小学校で行いました。高度経済成長期をむかえて自分たちの生活が大きく変わりつつあるなか、少し昔の暮らしを、ものを集めることで伝えようとしたのです。それから11年後の昭和54（1979）年に、国立市民具調査団（現くにたち暮らしを記録する会）が結成され、民具の調査が本格的にスタートします。その時に集められた民具は、現在くにたち郷土文化館に収蔵されています。

ちくおんき

蓄音機でレコードを聞いてみよう！

無料

2月27日（土）14：00～15：00頃まで



昭和初期の蓄音機を使ってSPレコードを鑑賞します。
 ※SPレコードをお持ちの方はぜひご持参下さい（都合により再生できない場合もあります）

申込：2月5日（金）より電話にて

☎042-576-0211

会場：郷土文化館 講堂

定員：25名（申込先着順）

ひな人形飾り

無料

2月13日（土）～3月7日（日）

桃の節句に女兒の健やかな成長を願う、ひな人形飾りを郷土文化館と国立市古民家で行います。昭和初期の七段飾りのひな人形を展示します。

場所：郷土文化館
 国立市古民家



おうちでも楽しめる郷土文化館

当館ホームページにて、郷土文化館で行われた講座の動画配信をしています。配布資料もあわせて公開していますので、是非ご活用ください。

くにたち郷土文化館ホームページ <https://kuzaidan.or.jp/province/>

※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により、イベントの予定は変更になる場合がございます。最新情報はHPにてご確認ください。

くにたち郷土文化館

〒186-0011 国立市谷保 6231

☎ 042-576-0211

■交通情報 ■JR南武線「矢川」駅
 下車徒歩10分/JR中央線「国立」
 駅からバス（「国立操車場」行または「国立泉団地」行）「くにたち郷土文化館」下車すぐ

